



# 八雲町社協だより

共に助け合い、共に支え合う、安心して暮らせる  
あたたかい福祉のまちづくりを目指して



年頭のご挨拶

八雲町社会福祉協議会  
会長 日南 章

新年のご祝詞を申し上げます。

皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から社協に對しましてご指導ご支援を賜り心から感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、東日本大震災とそれにもなう原発事故は国難と言えるものであり、八雲町においてもホタテ漁業に甚大な被害を被り大変な年でありました。一日も早い復旧復興をお祈りいたします。

また、我が国の政治、経済社会は混迷を深め、とりわけ私たちの暮らしに直結する年金・医療・介護などの社会保障制度がどうなるのか、その方向性が不透明であり生活不安が続いています。

地域社会では高齢化・核家族化の進行にともない、家族の絆、地域連携が薄れるなど、さまざまな課題が起きています。

このような中で、これからは「物の豊かさから心の豊かさ」が大切であることを再認識し、住民一人ひとりが、思いやり・優しさ・支え合いの精神で社会活動に参加することにより「誰もが安心して暮らせる温かい福祉のまちづくり」につなげていくことが一層求められると考えます。

社協は、これからも地域福祉推進の中核として、行政・関係福祉団体等と連携・協働しその環境づくりに努めてまいりますので、町民皆様の温かいご理解ご協力をお願い申し上げます。

結びに、この一年、町民皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

# 新八雲町社会福祉協議会設立5周年記念 第3回 八雲町福祉懇談会



平成二十三年十二月一日シルバープラザで標記懇談会が開催され、関係者延べ一〇〇名の方が参加されました。

講師には多方面で活躍されている特定非営利活動法人北海道総合福祉研究センター理事長 五十嵐教行氏を招き、「ボランティア活動を通してつくるまちづくり」と題し講演していただきました。

ボランティア活動には大きく対人ボランティアと対物ボランティアがあり、上手下手という枠組みではなく、自分の好きなことをボランティア活動に活かし、またそれをどう活動に繋がたらよいかを考えることが大切、活動を通してつくる町づくりもあるが、自分らしい生活も合わせて考えてもらいたいと話していました。

意見交換会では、ボランティア団体から地域での活動や施設慰問、行事等への協力などの取り組み状況を、熊石地



域の町内会からは「ふれあいサロンの取り組みや目的について発言がありました。

二つの福祉施設からは、ボランティアの協力や地域との交流を大切にしていき、より良い施設運営をして行きたいと話され、また、これを受けての意見がでるなど有意義な内容の福祉懇談会となりました。



# 平成23年度役職員先進地研修視察

平成23年10月26日、小地域福祉活動モデル事業を実施し後志管内でも活発な活動を行っている京極町社会福祉協議会へ視察に行ってきました。

京極町社会福祉協議会職員から法人運営事業や介護保険事業等説明があり、これからの社会福祉は地域ニーズを把握し住民が地域社会から疎外、排除されない福祉のまちづくりを行い、そのためには住民参加が不可欠であり、更に専門職によるコミュニティづくりが必要となってくるなどが話されました。

参加した役員からは、京極町社協は地域住民とのつながりが非常に近く、世間話から住民ニーズを聞きとり活動に繋げており、町ならではの特色となっていた。八雲町の社会福祉に取り入れられるよう努力していきたいと話していました。



受賞おめでとうございます。



八雲町社会福祉協議会理事会の席上で、日南会長より伝達されました。

【敬称略、順不同】

荒田 耕三（本町）

社会福祉協議会役員功労者として

社協創立六十周年記念特別表彰  
を受賞しました。

羽賀 春美（落部）

社会福祉協議会職員功労者として

平井 信子（熊石西浜町）

淡路 光芳（栄浜）

湊 恵美子（山越）

勇内山 和子（花浦）

川合 幸治（出雲町）

水口 忠行（山崎）

民生委員・児童委員功労者として

平成二十三年度北海道社会福祉協議会会長表彰を受賞しました。

## 社協居宅介護支援事業所紹介

居宅介護支援事業所とは、在宅で介護保険を利用される方や家族の要望を尊重し、心身の状態や家庭の状況に考慮して、適切な介護保険サービス等が利用できるように支援する事業所です。

介護支援専門員の資格を持つケアマネジャーが、利用者とサービス事業所のパイプ役となり、連絡・調整や介護保険施設等への紹介など、介護に関するさまざまな相談に応じています。

また、要介護認定の更新手続きや住宅改修・福祉用具購入などの手続きを利用者に代わって行っています。

なお、介護サービスの計画作成等には費用の負担はございませんので、安心して利用いただくことができます。

介護に関し不安を抱えていたり悩んでいる方がありましたら、気軽にご相談下さい。

- 事業所の実施区域 八雲地域
- 職員数 介護支援専門員 2 名
- 電話 64-2112



じぶんの町を良くするしくみ。

# 赤い羽根共同募金

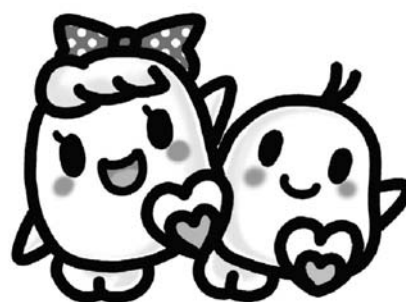


赤い羽根共同募金運動が10月1日から始まり、町民皆様から善意の募金が集まってきておりますので、12月15日現在の途中経過をご報告いたします。

赤い羽根共同募金の実績（12月15日現在）

実績額 3,647,354円（目標額 4,000,000円）

|    |      |            |      |          |
|----|------|------------|------|----------|
| 内訳 | 戸別募金 | 1,819,483円 | 学校募金 | 30,606円  |
|    | 大口募金 | 1,313,000円 | その他  | 212,701円 |
|    | 街頭募金 | 271,564円   |      |          |



## 「赤い羽根チャリティー演芸会」で楽しい一日

赤い羽根共同募金の内容を理解していただき、熊石地域にこれまで以上に助け合いの輪を広げたいという思いと、地域の人たちに楽しんでいただける機会を提供しようという思いから、今年初めて、「赤い羽根チャリティー演芸会」を10月22日（土）、午後1時30分から、熊石福祉センターで開催しました。

毎年、10月1日から行われる「赤い羽根共同募金運動」には、地域の人たちからたくさんのご協力をいただいておりますが、今年は、これまで以上に共同募金運動に力を入れ、地域の福祉事業を充実させようという多くの声が寄せられ、関係者と協議し、熊石地区共同募金委員会が主催し、今回の「チャリティー演芸会」の開催となりました。

演芸会には、ボランティア協議会や老人クラブ連合会、カラオケ愛好会などの会員が、得意の歌や踊りを披露し、約150名の入場者とステージが一緒になって楽しいひとときを過ごしました。



# ボランティア愛ランド2011 がみがわ北部 in しべつ



去る10月15日(土)～16(日)に道北の士別市にてボランティア愛ランド2011が開催されました。

今回は全道から約1,200名のボランティアが一堂に会し、それぞれの分科会にわかれ、共に学び合いました。

八雲町からはボランティア11名、八雲高校生徒2名が参加し、『スポーツがつなぐ心の輪』『出会い・感動・ボランティアって?』『記憶』を「記録」し後世に伝えよう』『一燈を似

って、一隅を照らす。そしてまちを創る』『メディアとボランティア』『けんぶち絵本の館ボランティア体験活動』の6つの分科会に分かれて学びました。

士別市やその近郊で行われているボランティア活動を学び自分たちのまちで行えるボランティアなどを考えることができました。

夜には参加者が一つの会場に集まり交流会が行われ、普段接する機会の無い道内のボランティアの方々と話をするよい機会になりました。



## 平成23年度渡島管内ボランティア活動研究協議会

去る11月17日(木)に北斗市のかなで～るにて渡島管内ボランティア活動研究協議会が開催されました。

約163名の渡島管内ボランティアが集まり、八雲町からは19名が参加しました。

今回は、平成23年3月11日に起こった東日本大震災にテーマをおき、被災地にボランティアへ行った方の体験談、被災地の状況、ボランティアとの関わりについて写真などを使って説明があり、参加したボランティアは熱心に耳をかたむけていました。

テレビでは放送されない裏側やボランティアとしてできることなど貴重なお話を聞くことができました。

災害の怖さや、対策などを改めて考える研究協議会になりました。





平成23年12月13日・14日に北海道コカ・コーラボトリング株式会社様より、地域貢献活動の一環で、八雲社協本所、支所へ合わせて飲料水56箱(1,350本)の寄贈がありました。

当社協から八雲町の各福祉施設へ、クリスマスプレゼントとして配付させていただきました。

**ありがとうございました。**

## 社協活動メモ

### 十月

- ・東町連合会敬老会
- ・第2四半期定期監査
- ・八雲町社会福祉協議会役職員先進地視察研修
- ・赤い羽根チャリティー演芸会  
京極町

### 十一月

- ・八雲ボランティア黒松内福祉施設慰問  
黒松内町
- ・第四回理事会
- ・渡島管内ボランティア活動研究協議会
- ・八雲会創立三十周年・厚生園三十周年記念のつどい  
北斗市
- ・年末調整説明会
- ・八雲町認知症家族の会「リフレッシュクラブ」十周年記念式典及び記念講演会
- ・平成二十三年全道市町村社協事務局長連絡会議  
札幌市
- ・野田生こばと保育園創立五十周年記念式典並びに祝賀会
- ・平成二十三年度第一回八雲総合病院運営検討会議
- ・ふれあいサークル・収穫の集い

### 十二月

- ・第三回八雲町福祉懇談会
- ・八雲ライオンズクラブクリスマス家族会
- ・第一回八雲町民生委員協議会定例会

## 皆さんの温かい善意のご寄付 ありがとうございました

### ボランティアセンター（愛情銀行）

平成23年10月16日～平成23年12月15日（順不同・敬称略）

#### 一般寄付

|                        |       |          |
|------------------------|-------|----------|
| ・永橋 浩                  | 札幌市   | 20,000円  |
| ・小原流八雲支部（昭和60年度より継続）   |       | 10,000円  |
| ・本村 敏                  | 熊石見日町 | 50,000円  |
| ・北海道縦貫自動車道八雲町南地区地権者協議会 |       | 107,829円 |

#### 物資寄付

|                                  |     |     |
|----------------------------------|-----|-----|
| ・八雲町老人クラブ連合会（平成20年度より継続）         | 石鹸  | 45個 |
| 他、タオル110枚、雑巾15枚、バスタオル6枚、ハンドソープ3個 |     |     |
| ・北海道コカ・コーラボトリング(株)八雲営業所          | 飲料水 | 56箱 |
| （昭和59年度より継続）                     |     |     |

会報第二十四号 ◎八雲町社協だより◎

平成二十四年一月一日発行

二海郡八雲町栄町十三一

社会福祉法人 八雲町社会福祉協議会

TEL 0137-631211  
FAX 0137-631212

赤い羽根共同募金の助成金は、八雲町社協だよりの発行にも役立てています。